

授業科目 健康障害看護学概論

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
洪谷 優子、梨本 光枝 岩田 みどり、金谷 光子		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標 : G10】 ライフサイクルの各発達段階にある人々の健康障害における発生頻度、発生状況、発生要因とそれらの特性及び生活に及ぼす影響を理解し、健康レベルに対応した看護援助法並びに健康障害の早期発見・予防とその対策を理解し、保健・医療・福祉に関わる政策・社会資源の活用法を理解し、人々のQOLの向上を目指す。					
【学習目標】 1. ライフサイクルの各発達段階にある人々を理解し、健康障害における発生頻度、発生状況、発生要因とそれらの特性を理解できる。 2. ライフサイクルの各発達段階にある人々の健康障害における日常生活・学生生活・労働生活に及ぼす影響を理解し、その看護援助法を習得できる。また生活の質向上を目指す。 3. ライフサイクルの各発達段階にある人々の、健康障害レベルに対応した看護援助法並びに早期発見・予防とその対象を理解できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	健康障害看護学の役割と目標 1)健康障害の考え方を理解する 2)ライフサイクルの発達段階にある人々の理解 1. 対象・家族の生活として理解 2. 各発達段階にある対象者の理解 3)健康障害の生活に及ぼす影響について理解する 4)健康障害レベルに応じた看護援助を習得する 5)健康障害の回復、早期発見、予防対策の必要性と対応する	1.2 3	講義 洪谷		
2	ライフサイクルの各段階にある人々の健康障害、発生頻度、発生状況、発生要因とそれらの特性及び生活（日常・学校・労働）に及ぼす影響を理解し、アセスメントと看護援助法を習得する 1)小児期の健康障害と生活に及ぼす影響をアセスメント、看護援助法を習得	2	2 講義 岩田		
3	2)成人期の健康障害と生活に及ぼす影響をアセスメント、看護援助法を習得	2	2 講義 洪谷		
4	3)精神障害と生活に及ぼす影響をアセスメント、看護援助法を習得	2	2 講義 金谷		
5	4)老年期の健康障害と生活に及ぼす影響をアセスメント、看護援助法を習得	2	2 講義 梨本		
6	各発達段階における健康障害の回復、早期発見、予防と保健医療福祉に関する政策	3	3 講義 洪谷		
7	自己学習 レポート課題 「ライフサイクルの各段階にある人々の健康障害の共通と特性と看護の対応」	3	3 自己学習		
8	まとめ				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	成人看護学概論 精神看護学 I 精神保健学				
その他の資料					
【評価方法】 出席、レポート、定期試験で評価する 出席 10% レポート評価 30% 定期試験 60%		【履修上の留意点】			